

〔参考〕平成20年度 武蔵野美術大学大学院入学試験問題一覧

〔A日程〕

◇美術専攻 造形学コース

○小論文（2時間）

【問題】

近年、本来利潤追求とは正反対に位置する芸術・文化に対し、「文化偏重の改革」「美しい国づくり」などを声高にかかげる政府をはじめ世間一般の目も決して暖かいものとはいえない現実が横たわっているとの意見が多い。美術史学においても、作品保存のため美術館・博物館等の照明が極端に暗くなり、じっくり実物を細部まで観察して考えを深める機会が失われつつあり、作品の良さを無視した図版構成やデザインが蔓延する出版事情など、美術史学を研究しようとする若手にとっては大変厳しい研究環境であると思われる。このような現状において、あなたは何を研究対象とし、どういう風に研究し、何を求めていくのかを、自分の研究テーマや研究方法に即して具体的に論じなさい。（2,000字以内）

◇美術専攻 芸術文化政策コース

○小論文（英語を含む）（2時間）

【問題】

一、別紙は十九世紀から二〇世紀初頭にかけて社会分析を幅広く行った、ドイツの哲学者・社会学者であるゲオルク・ジンメル（1858～1918）の「額縁——ひとつの美学的試み」（1902年、鈴木直訳）からの、一節である。これを読んで、「自然と芸術」、「芸術と社会」、「絵画と額縁」の、いずれかの関係に触れながら、今日の芸術のあり方について、自由な見解を述べなさい。（1000字から1200字以内でまとめなさい）

別紙出典：ちくま学芸文庫 ジンメル・コレクション 第5刷 114頁～117頁

二、その見解の要旨を、英語で書きなさい。（200ワード程度）

◇デザイン専攻 視覚伝達デザインコース

○小論文および設問（2時間）

【問題1】

小論文1

大学院で研究したい各自の研究テーマと研究手法について400字以内に要約して記述しなさい。

【問題2】

小論文2

新聞は時代とともにその紙面の体裁を変えてきています。最近、朝日新聞では、紙面の扱いが変わりました。（配付された朝日新聞10月10日朝刊を参照）

1段の字詰めも減少して2001年4月からはそれまでの12字詰めから11字詰めになり、さらに今年4月1日から朝日新聞1面のロゴタイプの下段に、新たにインデックスが加わりました。

新聞は、一般的にグーテンベルグ・ダイヤグラム（資料1）に見られる法則にしたがって読まれますが、朝日新聞がこのように紙面を改編しているのは、文字情報の扱い方が変化していることの現れです。

上記は新聞の変化の一例ですが、新聞をはじめ現在ある多様なメディアにおける文字情報の扱い方とあり方について、視覚伝達デザインの観点から論じなさい。（単一あるいは複数のメディアを取り上げても良い）

各自論述の主題を明確にし、文章のはじめに必ず表題（タイトル）を付け800字以内で記述しなさい。（参考資料-----試験会場に掲示してある資料と、配付された資料1および新聞の計3点）

資料1 出典「Design Rule Book — デザイン、新・100の法則」ビー・エヌ・エヌ新社刊 William Lidwell Kritina Holden Jill Butler 共著 2004年 100頁～101頁・試験会場掲示資料は、個別に配付された朝日新聞10月10日朝刊と同じ。

【問題3】

下記の人名から関連があるA～Jの事柄を選択し、解答用紙の枠内に記入しなさい。

1. ハーバート・バイヤー (Herbert Bayer)
2. オトル・アイヒャー (Otl Aicher)
3. アドルフ・ムーロン・カッサンドル (Adolphe Mouron Cassandre)
4. レイモンド・F・ローウイ (Raymond Loewy)

5. エル・リシツキー (Lazar EL Lissitzsky)
6. 山名文夫 (やまな あやお)
7. ヤン・チヒョルト (Jan Tschichold)
8. ハーバート・マター (Herbert Matter)
9. ルミエール兄弟 (Louis Lumiere, Auguste Lumiere)
10. スティーブン・ジョブス (Steven Paul Jobs)

- A. アップル・コンピュータ社のマッキントッシュは、ウィンドウシステム、アイコン、マウスなどの視覚的にわかりやすく操作しやすい、GUI (グラフィカル・ユーザー・インタフェース) を実現して、その後のパソコンの指針になった。
- B. ファッション誌、イラストレーション、ディスプレイ・デザインで幅広く活躍した。
著書に「口紅から機関車まで」「インダストリアル・デザイン」などがある。
- C. シネマトグラフという装置を使って、パリ市の「サロン・アンディアン」という劇場で、布製スクリーンに映画を初めて映写した。
- D. フォトモンタージュによるスイス観光ポスターでグラフィックデザイナーとして一躍脚光を浴び、1936年渡米後は写真家として「ハーバース・バザー」「ヴォーグ」誌などで活躍した。
- E. バウハウスの印刷工房に籍をおきタイポグラフィと広告を教えた。その後アメリカに渡りディレクターやコンサルタントを務めグラフィックデザインの先駆的工作をした。主な作品として「ユニバーサル書体」や「世界地理地図」などがある。
- F. ロシア生まれのグラフィックデザイナー。「ロシア建設」などのプロパガンダ雑誌を多く手がけた。ロシア構成主義の代表的存在である。
- G. ニュー・タイポグラフィを推進し、主著「ディ・ノイエ・ティポグラフィ」がある。
イギリスのペンギンブックスの仕事や後にはミュンヘン・グラフィック・アカデミーの校長を務めた。

- H. ウルム造形大学の学長を務めるかたわらデザイナーとしても活躍し、彼のデザインしたタイプフェース「Rotice」はよく使用される書体である。
- I. 幾何学的構成をもつデザインは、アールデコとも呼応し、ポスター史に一時代を築いた。主な作品にデュポネ酒のシリーズポスター、鉄道広告<北星号>などがある。
- J. 1929年に資生堂意匠部に入社、線画による新感覚のイラストレーションは資生堂のスタイルを確立するとともに、日本の広告界に大きな影響を与えた。著書に「広告のレイアウト」「体験的デザイン史」などがある。

◇デザイン専攻 工芸工業デザインコース

○小論文 (2時間)

【問題】

これから皆さんがやろうとしている研究 (仕事) と環境問題との関わりについて述べなさい。(1200字以内)

◇デザイン専攻 空間演出デザインコース

○小論文 (2時間)

【問題】

デザインは常に芸術と科学とを結ぶ領域分野に位置していると考えられる。

あなたにとって、芸術や科学とデザインとの差異、または相互の関係や影響について、具体例をあげて思うところを述べなさい。(1200字以内)

◇デザイン専攻 建築コース

○小論文 (1時間30分)

【問題】

「豊かさ」あるいは「健康」なすまいと住環境について、あなたのイメージを簡潔に、まとめること。別紙の一文は参考です。(1200字以内)

別紙出典：もったいない話です 赤瀬川原平 筑摩書房 2007年第1刷
97頁～106頁『生ゴミはお盆に載せて出すつもりで』

◇デザイン専攻 映像コース

○小論文（2時間）

【問題】

提示された映像から論点を設定して、その映像について1200字以内で論じなさい。

設定した論点をタイトルとして記入すること。

提示映像

タイトル A Year Along The Abandoned Road

作品時間 12min

制作年1991 Norway

◇デザイン専攻 写真コース

○小論文（2時間）

【問題】

写真における「表現性」をどのように考えるか、自己の研究制作の実績をふまえて、800～1200字で論考しなさい。

なお論文には論旨を明確に表現する「タイトル」を明記すること。

〔参考〕平成20年度 武蔵野美術大学大学院入学試験問題一覧

〔B日程〕

◇美術専攻 日本画コース

○実技（素描）（6時間）

【問題】

人物（モデル）をドローイングしなさい。

〔条件〕

1. 提出は2枚
2. 画用紙は縦横自由
3. 午前 クロッキー 午後 固定

〔配付物〕

1. 試験問題
2. B2画用紙×2枚
3. 透明水彩絵の具（3色 黒、茶、黄土）
4. B4上質紙（下書き用）×2枚

○小論文（2時間）

【問題】

「日本画」の言葉と概念が成立したのは明治中期のことであるが、それ以前には古代よりのアジア諸国と関わりながら展開してきた日本の造形の世界があった。あなたが大学院において目指そうとする表現は、果たして「日本画」なのか、それとも「日本の絵画」なのか、具体的な例を挙げて考える所を述べなさい。（1200字以内）

◇美術専攻 油絵コース

○実技（デッサン）（3時間）

【問題】

以下の問題文のうちの一つを選択し、条件にしたがって制作しなさい。

選択問題

①課題

モデルを描きなさい。

②課題

今後あなたが制作しようと思っている作品について、自由に表現しなさい。

①・②の課題とも、木炭紙あるいは画用紙を自由に選択し、提出はいずれか1枚とする。なお両課題とも必要に応じて「下書き」を提出してもよい。

〔条件〕

1. ①・②の課題とも用紙は縦横自由。
2. ①・②の課題とも描画材は自由（木炭、鉛筆、コンテ、その他）。
3. ①・②の課題ともイーゼル、または机を使用。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 木炭紙（または画用紙）×1枚
3. B4上質紙（下書き用）×5枚

○小論文（2時間）

【問題】

作品の意味は、作者が決定するものなのか、それとも鑑賞のなかで受け手が作り出していくものなのか、考えるところを述べよ。（1200字以内）

◇美術専攻 版画コース

○実技（デッサン）（6時間）

【問題】

答案用紙に57cm×85cmの枠を設定し、その中に与えられたモチーフを自由にデッサンしなさい。色鉛筆は必ず使用のこと。また、配付された原稿用紙にアーティストステートメントを400字以内で記述しなさい。

〔条件〕

1. 用紙は縦横自由。
2. 色鉛筆の色数等は自由。ただし、単色のみの使用は認めない。

〔配付物〕

1. 試験問題
2. 版画紙(アルシュ紙)×1枚
3. 原稿用紙×1枚
4. 鶏卵（茶）×1パック
5. 鶏卵（白）×1パック
6. B4上質紙（下書き用）×1枚
7. 水彩色鉛筆×1セット
8. 定規（1m）×1
9. シナベニヤ（下敷き用）×1枚
10. 白ボール紙（台紙用）×1枚
11. マスキングテープ×1

12. 筆×2
13. 筆洗バケツ×1

○小論文（2時間）

【問 題】

版画作品の持つ、絵画とは異なる表現の可能性について、考えるところを述べよ（1200字以内）

◇美術専攻 彫刻コース

○実技（デッサン）（6時間）

【問 題】

与えられた用紙の中に、これから展開する作品を実物大で描きなさい。
なお、全体が入りきらない場合は、主要部だけでよい。

[条件]

1. 描画材は鉛筆、木炭、コンテ等（選択自由、併用可）
2. 用紙は縦横自由。

[配付物]

1. 試験問題
2. 画用紙×1枚
3. B4上質紙（下書き用）×4枚

○小論文（2時間）

【問 題】

《彫刻》という表現領域の将来における可能性について書きなさい。
—あなたがなぜ彫刻コースを専攻したかということを念頭において—
（1200字以内）

◇美術専攻 造形学コース 出願者なし

◇美術専攻 芸術文化政策コース

小論文（英語を含む）（2時間）

【問 題】

- (1) 別紙の文章を読み、下記の問題に答えなさい。
内容の要約と論旨について書きなさい。（400字以内、日本語のみ）
- (2) 別紙の文章に関連する下記の5つのテーマからひとつを選んで、意見をまとめなさい。（日本語800字以内、および英語の抄訳200ワード程度）

1. ビエンナーレ、トリエンナーレといった国際展の役割
2. 展覧会のキュレーションについて
3. ジェンダー、あるいはフェミニズムについて
4. 日本における公立美術館が現在抱えている様々な問題点と解決に向けて
5. グローバルな社会におけるローカリティの課題とは

別紙出典：美術手帖 2007年11月号184・185頁

岡部あおみ＝評「もうひとつの現代芸術展」より

◇デザイン専攻 視覚伝達デザインコース

○小論文及び設問（2時間）

【問 題】

- ・ 下記の3つの問題について答えなさい。
- ・ 問題（1）（3）については、それぞれ指定の字数以内で、簡潔、論旨明解にまとめなさい。

（注意）（1）と（3）の問題は、それぞれ配付した指定用紙に分けて書きなさい。

問題（1）：小論文1

大学院でおこなう自分の研究の主題（テーマ）とその内容について具体的に述べなさい。

- ・ 文章には必ず表題（タイトル）を付けなさい。
- ・ 指定用紙に字数400字以内にまとめること。

問題（2）：設問

配付した資料は2007年11月15日付けの雑誌「Pen」210号である。雑誌というメディアからは、視覚伝達デザインの研究テーマとすべき問題対象を数多く見出すことができる。この雑誌から、視覚伝達デザインのテーマと考えられる問題を可能な限り抽出し、列挙せよ。

- ・ 1項目はなるべく20字以内に収めること。
- ・ 指定用紙の表面に収めきれない場合は裏面にも書くこと。

（抽出：抜き出すこと、引き出すこと）

（列挙：並べ上げること、数えたてること）

問題（3）：小論文2

問題（2）で抽出した「視覚伝達デザインのテーマと考えられる問題」より1つを選び出し、あなたの考えを具体的に述べなさい。各自論述の主題を明確にし、文章のはじめに必ず表題（問題（2）で抽出した項目

と同じ文)を付けなさい。

- ・指定用紙に字数1200字以内にまとめること。

雑誌「Pen」2007年11月15日号(No.210「クリエイティブ・アワード2007-2008」)

阪急コミュニケーションズ刊

◇デザイン専攻 空間演出デザインコース

○小論文(2時間)

【問題】

デザインの世界は今、ボーダレスの時代を迎えている。都市、建築、インテリア、ファッション、グラフィック、プロダクト、演劇、照明など、それぞれのデザインジャンルの垣根を乗り越えて仕事をする場合が増えている。

この現象の功罪について私論を述べよ。(1200字以内)

- 注意事項 タイトルをつける必要はありません。

◇デザイン専攻 建築コース

○小論文(1時間30分)

【問題】

別紙の一文を読み、理解したことを簡潔に記し、現代の都市建築について、あなたの考えるところを述べなさい。(1200字以内)

別紙出典：伊藤ていじ著「日本デザイン論」より(縄だるみの項の一部：22～31頁)

昭和42年8月5日第4刷 鹿島研究所出版会刊

◇デザイン専攻 基礎デザイン学コース

○小論文(2時間)

【問題】

次の文章は、京都の新しい景観政策に関する記事です。これを読んで、京都市の例にとどまらず、今日の都市景観についての問題点や改善点をあげ、まちづくりにとってデザインの果たす役割がいかなるものか、あなたの意見を具体的に述べてください。

(一二〇〇字以内)

出典 朝日新聞 平成十九年十一月一日コラム

「あしたを考える」～京都の景観 再生なるか

◇デザイン専攻 デザイン情報学コース

○小論文(2時間)

【問題】

図版は昨年(平成19年)9月21日に日経新聞朝刊に掲載された資生堂のヘアケア製品「ツバキ」の全32段2連版カラー広告である。

この広告を、(1)ヘッドコピーおよびボディコピー、(2)写真およびレイアウト、(3)企業の文化資産(ブランド力)の観点から分析・評価しなさい。(1200字以内)